

## L字型の図形の面積を求める

～プログラミング的思考を用いて、面積を求める方法を説明する～

この授業では、既習の長方形の面積の求め方を活用し、L字型の図形の面積を求める方法を考える場面において、思考したことを可視化し、順序立てて説明するために、アプリケーションソフトを用いて学習する活動を位置付けた。

### 導入

#### ◆ 問題を提示し、課題を設定する

- ・既習内容を活用できるように問題提示を工夫する。
- ・児童が学習の見通しをもつとともに、思考を深めることができるよう表示方法を工夫する。

### 展開1

#### ◆ 個人思考し、思考を視覚化する

- ・事前にデータ配布しておいた Google Jamboard を使い、ページごとに思考の流れを記載する。
- ・思考の順に番号を付けたり、順序を入れ替えたりしながら作成する。

### 展開2

#### ◆ 全体で考えを交流し、深める

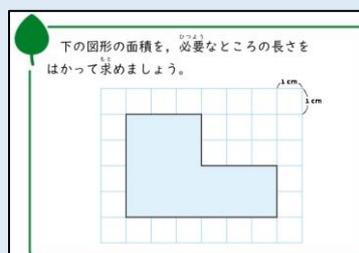
- ・自分や他の人の考えを、Google Jamboard を活用して全体に発表する。
- ・多くの考えから共通点や相違点を見だし、考えを深める。

### まとめ

#### ◆ 活動の振り返りをノートに記入

- ・教科のねらいに正対した振り返りを行うとともに、役に立った考え方についても振り返りを行う。

### 授業の様子・留意点



- ・児童が考えやすいように、既習事項を提示してから、L字型の図形を示す。



- ・手順を確認したり、入れ替えたりしながら思考する。
- ・これまでのプログラミングの経験を踏まえ、論理的にまとめるよう促す。
- ・同じ考えを黒板に掲示することで一般化を図ることができる。